

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 株式会社 ニッピ
 コード番号 7932 URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 桂作
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 善之

TEL 03-3888-5117

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	32,554	2.7	1,387	180.5	1,358	150.5	910	251.1
2019年3月期第3四半期	33,453	4.9	494	74.2	542	70.9	259	76.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 901百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 15百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	316.50	
2019年3月期第3四半期	90.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	70,028	28,660	40.2
2019年3月期	67,910	27,907	40.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 28,122百万円 2019年3月期 27,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		50.00	50.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	0.8	1,950	134.5	1,850	119.2	1,250	626.2	434.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	2,889,000 株	2019年3月期	2,889,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	12,702 株	2019年3月期	12,514 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,876,386 株	2019年3月期3Q	2,876,502 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦による世界的な経済の減速により外需産業の停滞感が増してきており、また、個人消費は2019年10月の消費税率の引き上げがマイナス要因となり景況感は悪化してきております。さらに英国のEU離脱後の動向、緊迫の度合いを増す中東情勢、新型肺炎の拡散なども日本や世界経済に影響を与える要因として懸念されております。

このような経営環境のもと、コラーゲン・ケーシングは、国内需要が低迷するなか、海外販売での価格改定や生産効率化などの収益改善施策に引き続き取り組んでおります。また、コラーゲンペプチドの需要は旺盛で、販売は好調に推移しております。

なお、コラーゲンペプチドの新工場は2019年8月に完成し、稼働を開始いたしました。また、賃貸・不動産事業では、大阪市浪速区の再開発事業の着手に先立ち、埋蔵文化財の発掘調査を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、32,554百万円(前年同四半期比2.7%減)となりました。また、営業利益は、1,387百万円(同180.5%増)、経常利益は、1,358百万円(同150.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、910百万円(同251.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は、さまざまな拡販に向けた取り組みを実施しておりますが、厳しい状況が続いております。輸出販売は、海外他社と価格で競合しながらも収益改善に引き続き取り組んでおります。また、生産面では生産効率が大きく改善し、原価が低減してきております。

この結果、売上高は、7,548百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業利益は、801百万円(前年同四半期は営業損失162百万円)となりました。

② ゼラチン関連事業

ゼラチンは、カプセル用途が順調に推移いたしました。中国アフリカ豚コレラの影響で豚皮が高騰し輸入販売は激減いたしました。コラーゲンペプチドは、魚原料不足は解消してきており、国内の健康食品用や医薬用などが好調に推移いたしました。また、新工場が製造を開始し、高付加価値品の製造、開発に取り組んでおります。

この結果、売上高は、7,344百万円(同0.6%減)、営業利益は、697百万円(同12.7%増)となりました。

③ 化粧品関連事業

スキンケア化粧品は、2019年9月までは通販市場の拡大を背景に順調に推移いたしました。消費増税の影響を受け苦戦いたしました。一方、健康食品については増税の影響はなく、顧客の継続購入も維持できており順調に推移いたしました。

なお、新規顧客獲得拡大のため、広告宣伝費の投入額を増やしております。

この結果、売上高は、3,523百万円(同6.2%増)、営業利益は、73百万円(同40.4%減)となりました。

④ 皮革関連事業

輸入原皮の販売、靴用部材の加工は堅調であったものの、輸入靴及び靴用革の販売は、需要の陰りの影響で苦戦いたしました。また、自動車ハンドル用革は、中国の景気減速の影響を受けて減少いたしました。

この結果、売上高は、7,257百万円(同12.1%減)、営業利益は、291百万円(同5.3%減)となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

再開中の東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場用地のほか、仮設中学校用地として足立区に期限付きで賃貸しております。また、大阪市浪速区の土地賃貸事業では、既存契約から切り替え、同土地の新規事業の着工に向け、埋蔵文化財の発掘調査を行っております。

この結果、売上高は、563百万円(同2.6%減)、営業利益は、444百万円(同2.3%減)となりました。

⑥ 食品その他事業

iPS細胞関連などバイオ事業は順調に推移したものの、有機穀物、イタリア食材、架橋塩化ビニルの販売は、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は、6,316百万円(同3.7%減)、営業利益は、215百万円(同13.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は70,028百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,118百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が693百万円、受取手形及び売掛金が527百万円、棚卸資産が871百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は41,368百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,365百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が469百万円減少しましたが、長期借入金が734百万円、長期未払金が352百万円、設備関係支払手形などのその他流動負債が852百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は28,660百万円となり、前連結会計年度末と比べ752百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年12月13日に公表いたしました数値に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,121	4,815
受取手形及び売掛金	8,564	9,092
商品及び製品	7,533	7,648
仕掛品	448	543
原材料及び貯蔵品	1,221	1,882
未収還付法人税等	222	15
未収消費税等	366	726
その他	626	557
貸倒引当金	△76	△78
流動資産合計	23,027	25,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,940	9,425
機械装置及び運搬具(純額)	919	2,456
土地	27,535	27,535
リース資産(純額)	52	34
建設仮勘定	3,495	257
その他(純額)	137	142
有形固定資産合計	40,080	39,851
無形固定資産		
リース資産	8	131
その他	183	187
無形固定資産合計	191	318
投資その他の資産		
投資有価証券	4,217	4,226
長期貸付金	36	36
繰延税金資産	29	80
破産更生債権等	5	8
退職給付に係る資産	22	15
その他	396	391
貸倒引当金	△104	△107
投資その他の資産合計	4,604	4,651
固定資産合計	44,876	44,821
繰延資産	5	2
資産合計	67,910	70,028

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,456	8,734
短期借入金	12,421	11,952
1年内償還予定の社債	160	80
リース債務	32	49
未払法人税等	131	120
未払消費税等	246	103
賞与引当金	501	223
役員賞与引当金	45	26
ポイント引当金	56	56
その他	1,152	2,004
流動負債合計	23,204	23,350
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	8,226	8,961
長期末払金	470	823
リース債務	50	125
繰延税金負債	902	1,037
再評価に係る繰延税金負債	4,071	4,071
役員退職慰労引当金	505	520
退職給付に係る負債	2,130	2,057
資産除去債務	6	6
その他	233	214
固定負債合計	16,798	18,018
負債合計	40,003	41,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	11,376	12,143
自己株式	△37	△37
株主資本合計	17,674	18,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,085	1,088
繰延ヘッジ損益	△3	5
土地再評価差額金	8,775	8,775
為替換算調整勘定	114	24
退職給付に係る調整累計額	△242	△211
その他の包括利益累計額合計	9,730	9,682
非支配株主持分	502	537
純資産合計	27,907	28,660
負債純資産合計	67,910	70,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	33,453	32,554
売上原価	26,978	24,974
売上総利益	6,475	7,579
販売費及び一般管理費	5,981	6,191
営業利益	494	1,387
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	114	119
為替差益	57	3
持分法による投資利益	13	10
その他	73	31
営業外収益合計	263	169
営業外費用		
支払利息	141	145
手形売却損	21	20
その他	53	32
営業外費用合計	216	198
経常利益	542	1,358
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	8	4
固定資産売却損	0	-
会員権評価損	-	1
土地開発関連費用	-	110
特別損失合計	8	116
税金等調整前四半期純利益	534	1,242
法人税、住民税及び事業税	183	231
法人税等調整額	45	61
法人税等合計	228	293
四半期純利益	305	949
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	259	910

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	305	949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△276	1
繰延ヘッジ損益	2	10
為替換算調整勘定	△81	△90
退職給付に係る調整額	34	30
その他の包括利益合計	△321	△47
四半期包括利益	△15	901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62	861
非支配株主に係る四半期包括利益	47	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。